



黒沢一成議員

## 施政方針

# 「ふるさと納税制度」PRの具体策は

## 同郷の会、ホームページなどで

**質問** 「ふるさと納税制度」PRの具体策は。

**企画財政課長** 20年度税政

改革大綱に盛り込まれ、国では21年度実施に向けた作業が行われている。

制度の内容が確定してから、ふるさと同郷の会へのお願いや全国の当町出身者に対し、町のホームページ等で制度の内容を説明しPRに努める。町民の縁者へ

のPRもお願いしたい。

**質問** 病児・病後児保育事業への支援の内容は。

**沼崎町長** 保護者の子育て

と就労支援のため、利用児童数や人員体制などの必要条件を備えている山田町第一保育所において20年度から実施する事業である。

施設の改善及び運営費に対する補助金の交付のほか、子育て支援ホームページや



ふるさと山田の思い出を懐かしそうに語り合う「ふるさと山田同郷の会」への参加者（昨年の様子）

## 議員13人が一般質問

### 教育行政

## 小学校再編統合の考え方

## 現時点では定めていない

**質問** 小学校の再編統合は児童の教育環境にとっても地域にとっても大きな課題であるが、基本的な考え方は。

**澁谷教育次長** 少子化により児童数が減少傾向にあり、再編統合は避けて通れない状況である。方向性決定までの期限は現時点では定めていない。新年度から検討を始める。本町では校舎の老朽化は関係ない。

**質問** 不登校の現状は。

**松尾教育長** 本年度は小学

年度は他園の児童も受け入れるオープン型を予定している。

**質問** 小中学校へのAED設置に伴い、中学生への救急講習を実施する考えはないか。

**沼崎町長** 実施する方向で検討する。

校2名、中学校24名であり、昨年度と比べると増加傾向にある。

**質問** 今の子供達は一人一人の役割が増え精神的に負担となっていることが原因では。

**松尾教育長** 不登校の原因は一人一人さまざまである。

**質問** 不登校から引きこもりになってしまわないよう義務教育のうちに解決を。

**松尾教育長** ほとんどの子供が進路を決定し立ち直る状況になっている。